

平成20年3月期(2008年3月期) 中間連結決算 及び 通期業績見通し

2007年10月30日  
JFE商事ホールディングス株式会社

平成20年3月期 中間連結決算のポイント

- 鉄鋼業界において、国内では造船や建設・産業機械など製造業向けに需要は拡大基調を維持し、輸出についてもアジアを中心に高級鋼への需要が強く、高水準の粗鋼生産が維持された。  
これにより、国内の鋼材取引、鋼材輸出、原材料取引が拡大し、売上高は全体で前期比1,249億円増収の1兆1,922億円となった。経常利益はJFE商事(単体)の増益(+25億円)、および前年同期に鋼材価格軟化の影響を受けた中国コイルセンターの復調等により、同29億円増益の197億円となり、過去最高益を更新した。  
中間純利益は前年同期に販売用不動産評価損を計上したこともあり、同46億円増益の117億円と初の100億円超となった。
- 総資産は取引高増加に伴う売上債権、在庫の増加等により、前年度末比 228億円増の 6,496億円となった。  
有利子負債は、前年度末比 44億円減少の 935億円、有利子負債倍率(DER)は0.87倍となった。  
純資産は配当(20億円)及び自己株式(優先株式)の消却(33億円)等により 53億円減少したものの、中間純利益 117億円により前年度末比 78億円増の 1,133億円(除く少数株主持分:1,077億円)。
- 配当予想額を3円引上げ、年間10円と増配の予定。

【セグメント情報】

単位: 億円

セグメント	売上高			営業利益			主な内訳
	当中間	前年同期	増減額	当中間	前年同期	増減額	
鉄鋼、鉄鋼周辺	11,634	10,415	+1,219	172	150	+22	J商事単体の増益(+23億円)が主な要因。 海外缶詰事業等の取引拡大により売上高は増加したものの、水産物の取扱減により営業利益は減少。 川崎マイクロとの戦略同期化を図っている主力のASICは、国内・アジア向けが拡大し、売上高・営業利益共に増。 保有不動産の早期売却に取組む。 経費の圧縮に努めた結果、営業損失が改善。
食品	206	185	+21	1	2	▲1	
半導体	79	69	+10	2	1	+1	
不動産	3	4	▲1	▲1	▲2	+1	
合計	11,922	10,673	+1,249	174	151	+23	

【損益計算書項目の内訳】

【売上高】 (億円)

	当中間	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	9,288	8,218	+1,070	+13%
(鉄鋼)	5,752	5,167	+585	+11%
(原材料・資機材・他)	3,536	3,051	+485	+16%
(分社3社)	1,802	1,681	+121	+7%
(海外CC)	472	389	+83	+21%
(その他子会社)	1,673	1,671	+2	+0%
連結子会社	3,947	3,741	+206	+6%
連結修正	▲1,570	▲1,514	▲56	+4%
JFE商事(連結)	11,665	10,445	+1,220	+12%
分割3社他	257	228	+29	+13%
JFE商事HD(連結)	11,922	10,673	+1,249	+12%

【経常利益】 (億円)

	当中間	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	132	107	+25	+23%
(分社3社)	22	21	+1	+5%
(海外CC)	11	5	+6	+120%
(その他子会社)	37	39	▲2	▲5%
連結子会社	70	65	+5	+8%
持分法会社	13	13	+0	+0%
連結修正	▲20	▲19	▲1	+5%
JFE商事(連結)	195	166	+29	+17%
分割3社他	2	2	+0	+0%
JFE商事HD(連結)	197	168	+29	+17%

【中間純利益】 (億円)

	当中間	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	83	69	+14	+20%
(分社3社)	13	12	+1	+8%
(海外CC)	7	4	+3	+75%
(その他子会社)	24	20	+4	+20%
連結子会社	44	36	+8	+22%
持分法会社	13	13	+0	+0%
連結修正	▲24	▲18	▲6	+33%
JFE商事(連結)	116	100	+16	+16%
分割3社他	1	▲29	+30	-
JFE商事HD(連結)	117	71	+46	+65%

【平成20年3月期 業績および配当予想】

(億円)

通期連結業績予想	今回公表時 10/30公表	当初計画 4/27公表	H19.3期 実績
売上高 (前期比)	23,700 (+7.0%)	23,100	22,153
営業利益 (前期比)	370 (+13.9%)	365	325
経常利益 (前期比)	385 (+9.4%)	370	352
当期純利益 (前期比)	230 (+31.5%)	220	175
1株当たり配当 (普通株)	10円	7円	7円

(為替 = 上期実績: 119円/ドル 下期前提: 115円/ドル)

【概要】

鉄鋼業界においては、中国メーカーの生産動向を注視する必要があるものの、国内は、造船や建設・産業機械など製造業向けに需要が好調に推移し、輸出は、アジアを中心に高級鋼の需要が旺盛であることから、引き続き高水準の粗鋼生産が維持されるものと予想。

通期の連結業績見通しについては、上半期の業績が好調であったことから、前回予想(4月27日公表)に比べ、売上高は600億円増の2兆3,700億円、営業利益は5億円増の370億円、経常利益は15億円増の385億円、当期純利益は10億円増の230億円を見込む。

【配当】

株主の皆様への利益の還元、グループ全体の経営基盤強化のための内部留保の充実、優先株式の償還、業績動向等を総合的に勘案して、配当方針を決定。  
当中間連結決算および通期の連結業績予想を踏まえ、当初予想(4月27日公表)を3円引上げ、普通株式1株当たり10円の予定。

(億円)

【損益計算書】

	当中間期	前年同期	増減	増減率
売上高	11,922	10,673	① 1,249	+12%
売上総利益	441	403	② 38	+9%
(売上総利益率)	(3.7%)	(3.8%)	(▲0.1%)	
販売費及び一般管理費	267	252	③ 15	+6%
営業利益	174	151	④ 23	+15%
受取利息	7	6	1	
支払利息	15	14	1	
(金利収支)	(▲8)	(▲8)	(0)	
受取配当金	6	9	▲3	
(金融収支)	(▲2)	(1)	(▲3)	
持分法投資利益	13	13	0	
その他営業外損益	12	3	9	
営業外損益	23	17	⑤ 6	
経常利益	197	168	⑥ 29	+17%
特別利益	7	-	⑦ 7	
特別損失	7	35	⑧ ▲28	
法人税等	76	58	18	
少数株主利益	4	4	0	
中間純利益	117	71	46	+65%

① 売上高  
J商事単体  
(国内鉄鋼・TA) +214  
(海外鉄鋼) +371 } +1,070  
(原材料・資機材) +485  
国内建材系分社3社 +121  
海外CC(海外コイルセンター) +83  
連結修正他 ▲25  
計 +1,249 億円

② 売上総利益  
J商事単体+29億円、国内建材系分社3社+2億円、海外CC+8億円 他

③ 販売費及び一般管理費  
人件費の増加(+8億円)等により+15億円。

④ 営業利益  
売上総利益の+38億円に販売費及び一般管理費の+15億円を加味した結果、+23億円(+15%)の174億円。

⑤ 営業外損益  
受取配当金(▲3億円)が減少したものの、為替予約の評価益(+5億円)等の「その他営業外損益」が+9億円となり、前年同期比+6億円。

⑥ 経常利益  
営業利益の+23億円に営業外損益の+6億円を加味した結果、前年同期比+29億円(+17%)の197億円。

⑦ 特別利益  
【当期】 固定資産売却益 +7

⑧ 特別損失  
【当期】 固定資産減損損失 ▲5  
役員退職慰労引当金繰入額 ▲2  
販売用不動産評価損 ▲29  
【前期】 固定資産減損損失 ▲3  
関係会社整理損 ▲3

(億円)

【貸借対照表】

	当中間期末	前年度末	増減
総資産	6,496	6,268	228 ㉑
純資産	1,133	1,055	78 ㉒
有利子負債	935	979	▲44 ㉓
有利子負債倍率(DER)	0.87倍	0.98倍	▲0.11倍 ㉔
自己資本比率	16.6%	16.0%	+0.6% ㉕

㉑ 売上債権 +128 (J商事単体 +76、海外CC +26、分社3社 +10 他)  
在庫 +57 (J商事単体 +10、海外CC +33、分社3社 +7 他)

㉒ 剰余金 +64 (当期利益 +117、配当 ▲20、自己株式消却 ▲33)  
為替換算調整勘定 +15 他

㉓ J商事単体 ▲56、分社3社 ▲15、海外CC +34 (為替要因+12) 他

㉔ 有利子負債 ÷ (純資産 - 少数株主持分)

㉕ (純資産 - 少数株主持分) ÷ 総資産

(億円)

【キャッシュ・フロー計算書】

	当中間期	税引前利益 +197、法人税等の支払 ▲68、減価償却費 +17 他
営業活動によるキャッシュ・フロー	142	
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲29	有形固定資産の取得 ▲33、有形固定資産の売却 +11、無形固定資産(ソフトウェア)の取得 ▲11 他
フリー・キャッシュ・フロー	113	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲109	借入 ▲58 (J商事単体 ▲56、分社3社 ▲15、海外CC +22)、自己株式の取得 ▲28(剰余金 ▲33、源泉税 +5)、配当金の支払 ▲20 他
現金及び現金同等物の期末残高	309	